

SSRI

ちよつと一言

Give me a break !

トランプ大統領の訪韓前に中国に身売りした韓国

樋口 譲次

韓国が米国のTHAAD（終末高高度ミサイル防衛システム）配備を認めたことに激昂した中国は、韓国への経済制裁で報復した。

THAAD用地を提供したロッテグループの量販店「ロッテマート」の中国国内での営業停止や韓国への大幅な旅行制限など、「大国政治」の欠片も見えない陰湿な嫌がらせを公然と行った。

これに恐れ戦いた韓国は、中国による経済制裁を解除してもらおうと、中国にすり寄った。

中国の第19回共産党大会後の10月30日、韓国「従北」政権の康京和外相は、国会で下記の「三不（三つの不）」を表明した。

①米国のミサイル防衛（MD）体制に加わらないという韓国政府の既存の立場に変更はない。

②韓米日安保協力が三者軍事同盟に発展することはない。

③THAADの追加配備は検討していない。

それと同時に、中韓両国の外交部のホームページに「中韓合意文書」が掲載され、中韓の関係改善が謳われた。そのポイントは下記のとおりである。

中国側はMD（ミサイル防衛）構築、THAAD追加配備、韓米日軍事協力などに関連し、中国政府の立場と憂慮を明らかにした。韓国側はすでに韓国政府が公開的に明らかにした関連する立場（「三不（三つの不）」）を改めて説明した。

双方は韓中間の交流・協力の強化が双方の共同利益に符合することに共感し、全ての分野での交流・協力を正常的な発展軌道に速やかに回復することに合意した。

中国は、北朝鮮の核問題が解決すれば、THAADを撤退させることに韓国が同意し、また、韓国は「韓米日による対中国包囲網」の成立に組みしないとの理解であり、**経済制裁を恐れた韓国が中国に身を売ったことで、中国は日米韓に大きな楔を打つことに成功したと、高笑いしている。**（2017年11月7日）